

国際会議から 橋りょうの耐震性に関する第3回国際ワークショップ(III IBSW)

International Bridge Seismic Workshop (IBSW) は橋りょうの耐震分野に関する国際ワークショップです。2017年に中国・上海で開催されたのに続き、今年で3回目の開催となりました。今回はシアトルのワシントン大学が会場となり、「交通インフラにおける地震ハザードの低減方法と戦略」をテーマにした発表議論が行われました。

鉄道総研からは、地震応答制御研究室より豊岡室長と筆者が参加し、豊岡室長は Seismic Analysis Assessment セッションで「高架橋の危機耐性を向上させる自重補償構造の開発」、筆者は Seismic Performance Testing Assessment のセッションで「地中ばりが高架橋の地震時損傷に及ぼす影響」に関してそれぞれ発表しました。筆者の発表では、会場から地震動の入力条件に関する質問があり、有意義な意見交換を行うことができました。

また、会場では耐震性能を向上させる補強工法や構造提案に関する発表が多くあり、国外における最新の研究成果を収集することができました。

開催地のシアトルは、タコマ国際空港からワシントン大学までを結ぶ Link Light Rail、ダウンタウンを走る Seattle Center Monorail の他、市内近郊を走る公共バス Metro などの公共交通機関が充実していました。各交通機関で共通の交通系ICカード orca が使用でき、初めての地でも非常にスムーズに移動することができました。



筆者の発表の様子



会場となったワシントン大学



小野寺周

鉄道地震工学研究センター  
地震応答制御研究室  
研究員

正式名称：The Third  
International Bridge  
Seismic Workshop  
(III IBSW)  
開催国：アメリカ(シアトル)  
期間：2019年10月1日～4日  
主催：International  
Association of  
Bridge Earthquake  
Engineering (IABEE)  
開催頻度：2年に1回  
次回開催予定：2019年10月  
(カナダ)  
ホームページURL：<https://www.iabee.org/conferences-workshops>